

事務連絡
令和4年3月30日

職員各位

ハラスメント対策委員会
委員長 金子 臨

令和3年度「ハラスメント対策委員会」活動報告について

以下のとおり委員会の活動内容を取りまとめ報告します。

■ 活動の概要

4月	第1回委員会開催。役員を選任し、委員会の役割を確認。 地方公務員災害補償基金のDVD「消防職員の心身の健康を保つために」を委員各自が視聴し、ハラスメントの基礎知識を学ぶ研修を実施。
7月	参加を予定していた北海道市町村職員共済組合のセミナーが延期された為、委員各自が厚生労働省のオンライン研修を受講し、本部総務課長へ受講証明書とレポートを提出。
10月	全職員に向け、「職場のハラスメント対策パンフレット」を配布。 消防本部（荻屋）が受講した総務省消防庁の「ハラスメント等相談窓口相談員向け Web 研修」について資料と概要の報告を受けた。
3月	第2回委員会開催。「全国の消防ハラスメント事例（2022/02）」を基に、消防のハラスメントの背景と対策について意見交換。 委員各自が「メンタルヘルスウェビナー」の動画を視聴した。

■ 委員長から

ハラスメント対策委員会が組織されて4年が経過し、徐々にではあるがハラスメントについての理解を深め、ハラスメントを起こさない風土づくりは組織として根付いてきていると感じます。しかし、まだまだハラスメント事案に繋がる『小さな芽』は確実に存在します。

ハラスメントの起きる背景には「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」への理解不足や「ダイバーシティ（多様性）」など社会変化への対応の遅れが指摘されています。

上司、同僚、部下のみならず、仕事をする中で関わる全ての人物を尊重し、更にハラスメントへの関心や正確な知識を持ち、相手を理解し、尊重し合える職場としていかなければなりません。

今後、ハラスメントが無い環境づくりを心掛けて下さい。

以上